

アップルは、4月3日に「iPad」を発売すると発表した。3月12日から、アップルのオンラインストア先行予約を開始する。価格は499ドルから。4月3日に発売するのは無線LANでネット接続する機種だけで、第3世代携帯のデータ通信機能も内蔵した機種WiFi+3Gモデルの発売は4月後半からになる。

日本では、両機種とも4月後半に発売する予定。4月後半には、日本のほかに、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、スイス、英国でも発売。2010年後半には、さらに多くの国でi発売される。



Wi-Fi+3G版は16Gで629ドル

さて注目は、電子出版プラットフォーム「iBooks」だが、本体の発売と同時にiBooks Appがダウンロード可能になる。ただ、これはアメリカだけであり、他の国々では「今年の後半になるとしか、発表リリースに書かれていない。以下、リリースの「iBooks」に関する記述をコピペする。

The new iBooks app for iPad includes Apple's new iBookstore, the best way to browse, buy and read books on a mobile product. The iBookstore will feature books from the New York Times Best Seller list from both major and independent publishers, including Hachette Book Group, HarperCollins Publishers, Macmillan Publishers, Penguin Group and Simon & Schuster.

The iBooks app for iPad including Apple's iBookstore will be available as a free download from the App Store in the US on April 3, with additional countries added

later this year.

「later this year」ということは、早くて今年の秋ということか。そうになると、Kindleの日本対応と時期がいつのなるということだろうか？
ともかく、あと半年余りで、日本も電子書籍リーダー時代に突入することになる。もう一つ気になるのは、「iBookstore」オープンと同時に、日本語コンテンツが表示および出版可能かということだが、まだ、このことに関する情報はない。